

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（血液）を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

遺伝性痙性対麻痺の血中マーカー探索

【研究機関】 愛媛大学大学院 医学系研究科 脳神経内科・老年医学

【研究責任者】 大八木保政（脳神経内科・老年医学 教授）

【研究代表者】

柴田弘紀（九州大学生体防御医学研究所 ゲノミクス分野 准教授）

【研究の目的】

過去に受診された神経内科疾患患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、血液検査で特定のタイプの遺伝性痙性対麻痺の診断ができるかどうかについての研究を行うことといたしました。この研究は遺伝性痙性対麻痺における有効な診断方法の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2017年1月から2020年6月に愛媛大学医学部附属病院神経内科（現：脳神経内科）を受診された患者さん17名。

（利用するカルテ情報） 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等

（利用する試料） 通常の診療で使用した後に残った試料（血液）

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんの診断名/試料は、匿名化されて九州大学生体防御医学研究所に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者>

九州大学生体防御医学研究所ゲノミクス分野 柴田弘紀

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学大学院 医学系研究科 脳神経内科・老年医学 大八木保政
791-0295 愛媛県東温市志津川
Tel: 089-960-5851